

第21回「ふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】 特定疾患について

- ・難病疾患患者に対する支援について、ホームページの内容が分かりづらい。補助制度の内容（助成額や回数等）や手続き方法について、もう少し詳しく掲載してほしい。

⇒【村長コメント】

助成額や回数等、分かりやすい情報を掲載するよう、担当課に伝える。

【2】 NPO法人「楽楽茶の間」の解散について

- ・「楽楽茶の間」の解散について、なぜ今解散しなければならないのか。東海村地域福祉計画の実現を考えれば、今解散するのはおかしいのではないか。

⇒【村長コメント】

「楽楽茶の間」では、「生きがいきづくり支援事業」を実施しているが、近年は事業への参加者はいても、運営する会員が増えないことが課題となっている。そのため、会員だけで、村内全域の高齢者への支援を続けていくことは難しいと判断し、解散することとなった。今後は、それぞれの会員等が各地域でできることをやっていくようだ。それぞれの地域で、地区社協や会員、利用者等を交えながら、利用者が本当に求めているものは何なのかを話し合う場が必要であると考えている。今後の対応策等を検討するよう、担当課に伝える。

【3】 遊具の点検方法について、野球のスコアボード等について

【遊具の点検方法について】

幼稚園や保育所、公園等にある遊具について、村ではどのような方法で点検しているのか。頻度や実施方法を教えてほしい。

⇒【村長コメント】

後日、担当課から回答する。

⇒【都市整備課コメント】

日常点検と定期点検を行っている。日常点検は、年2回、シルバー人材センターに委託して、目視のほかゆすったり、たたいたりといった方法で行っている。また、定期点検は5年に1回のサイクルで専門業者に委託している。日常点検よりも専門的に、細かく遊具の状態を確認している。

【野球のスコアボード等について】

中学校の部活動で使用する野球のスコアボードについて、東海南中学校には大きなボードがあるが、東海中学校には小さいものしかない。どちらも大きいボードにできないか。また、屋根付きのベンチを整備できないか。

⇒【村長コメント】

できるところから対応していきたいと考えている。また、部活動は学校教育の一環であるため、屋根付きのベンチは難しい。

※なお、特筆すべき事項がなかった方につきましては、掲載を割愛させていただきます。